

令和2年第9回 臨時網走市教育委員会会議録

令和2年8月11日（火）午後4時15分 西庁舎会議室に招集した。

1. 出席した委員は次のとおりである。

教育委員 富永 雄一 ・ 中山 真弓 ・ 益村 公人 ・ 伊藤 亮人
教育長 三島 正昭

2. 会議の議案は、次のとおり。

議案第1号 令和2年度一般会計補正予算要求について【非公開】【原案可決】
議案第2号 網走市図書館協議会委員の委嘱について【公開】【原案可決】
報告第1号 令和2年度網走市社会教育推進計画について【公開】【報告承認】

3. 説明のため出席した者は、次のとおり。

学校教育部長 林 幸 一
社会教育部長 吉 村 学
社会教育部次長 岩 本 博 隆
社会教育課長 岩 尾 弘 敏
図書館長 本 橋 洋 樹
美術館長 古道谷 朝 生
スポーツ課長 阿 部 昌 和
博物館長 米 村 衛

4. 会議の書記は、次のとおり。

学校教育課庶務係長 高 木 力

5. 会議の署名委員は、次のとおり。

本日出席委員全員及び教育長

三島教育長

ただ今から令和2年第9回臨時網走市教育委員会を開会いたします。
本日の出席委員は、教育委員4名と教育長が出席しております。

次に、本日の会議録署名委員の指名ですが、出席をされている委員の
全員と教育長といたします。

本日は、議案2件、報告1件でございます。審議に入る前に、まず、
教育委員会会議規則第12条のただし書きに定められております非公開
案件とすべき事項について、お諮りをいたします。本日の議案第1
号「令和2年度一般会計補正予算要求について」は、「議会の提出前
である議案に係る事項」に該当すると思われますので、非公開とする
ことをご異議ございませんか。

(「ありません」との声)

異議なしと認めまして、議案第1号については、非公開案件とさせて
いただきます。

それでは本日の議題に入りたいと思います。非公開案件の議案第1号
「令和2年度一般会計補正予算要求について」を上程いたします。事
務局から説明をお願いいたします。

【非公開案件】

三島教育長

それでは、お諮りいたします。非公開案件の議案第1号につきまして、
原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

(「ありません」との声)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に、議案第2号「網走市図書館協議会委員の委嘱について」を上程
いたしますので、事務局から説明をお願いいたします。

本橋図書館長

ただいま、ご上程いただきました議案第2号、網走市図書館協議会委
員の委嘱について、ご説明いたします。

議案書、4ページ、5ページと資料の4ページをご覧ください。

網走市図書館協議会委員は、網走市附属機関条例に基づき教育委員会
が委嘱するもので、所掌事項は議案書の4ページに記載のとおりで
ございます。

定数 10 名、その内、選出区分が「家庭教育の向上に資する活動を行う者」の 芳浪 寿治委員の退任により 1 名が欠員となりました。新たに網走市 P T A 連合会より推薦のありました記載番号 1 番の委嘱予定者、鴻巣 直樹氏を令和 2 年 8 月 12 日から前任者の残任期間である令和 3 年 8 月 31 日まで委嘱しようとするものでございます。説明は以上でございます。
よろしく、ご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

三島教育長

ただいま、説明がありました議案第 2 号につきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

(「ありません」との声)

それでは、お諮りいたします。議案第 2 号につきまして、原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

(「ありません」との声)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に、報告第 1 号「令和 2 年度網走市社会教育推進計画について」を上程いたしますので、事務局から説明をお願いいたします。
社会教育部長。

吉村社会教育部長

ただいまご上程いただきました、報告第 1 号「令和 2 年度網走市社会教育推進計画について」ご説明をさせていただきます。別冊の令和 2 年度網走市社会教育推進計画をご覧いただきたいと思います。表紙をめくっていただきまして 1 ページ目ですが、昨年 3 月に策定いたしました第 4 次社会教育長期計画の 5 つの基本目標と基本方針のもと、3 年間の重点施策を定め毎年検証を行いながら 3 年ごとに評価見直しを行っていくこととして目標を設定しているところでございます。この後 2 ページ目からは、各課・館からそれぞれの推進計画に沿って具体的な内容と取り組みについて順次説明をさせていただきたいと思っております。

三島教育長

社会教育課長。

岩尾社会教育課長

2 ページをお開きください。
社会教育課推進計画についてですが、ねらいとしまして、第 4 次社会教育長期計画の基本理念に基づき、市民の生涯学習の推進、変化する

地域や暮らしに対応した学びの循環の促進、自己実現や課題解決のための学習活動の一層の推進に取り組みます。

重点施策としまして、各種機関とのネットワークの強化、ICTの活用、SDGs等の理念を踏まえた取り組みなどを行ってまいります。3ページから、具体的な取り組みについて記載しており、主なものを説明させていただきますが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業も記載しております。今年度の事業の実施にあたっては、3密を避け、手指消毒、マスク着用、検温、健康状態の確認など感染症予防対策を講じたうえで実施しています。

3ページは、指導者育成、情報提供、学校教育との連携、4ページは、家庭教育の支援等について記載しております。4ページの1段目の事業、親と子のふれあい教室は、前期の教室を中止しましたが、6月にオンラインによる講座を1講座開催しました。2段目の幼児を育てる親の子育て講演会についても、オンライン開催を予定しております。情操教育の支援の、子どもと動物ふれあい事業は中止しております。5ページの、団体・グループ活動への支援といたしまして、子ども育成活動などに取り組んでいる団体や、文化連盟などへの支援を行ってまいります。

6ページの、青少年の健全育成については、豊かな心を育てる推進会議では、小中学生への豊かな心を育てる標語の募集や、意見発表会を開催します。

7ページから10ページにかけて、生涯各期の学習機会の充実について記載しております。

少年期を対象とする講座について、ロセトクラブの講座や放課後子ども教室は、本年度は新型コロナウイルスの対策をとりながら、6月から開催しております。

10ページの高齢期を対象とした寿大学については、4月は1年生のみで入学式を実施し、5月から5回FMあばしりで「ラジオで寿大学」を放送、6月からは感染症対策を講じながら、分散登校や2部制にするなど一堂に集まる人数を減らし実施しています。

11ページの生涯学習の奨励について、上から2段目の網走市民大学は、9月から4講座を予定し、密集回避のためすべてエコーホールを会場とし、定員を200名とした上で事前予約制により実施を予定しております。

12ページの郷土学習の充実については、引き続き「あばしり学」に取り組みますが、今年度は第1回目として、7月に小学4年～6年生を対象とする「あばしり湖体感コース」を実施しております。

13ページの、文化活動の振興について、芸術文化鑑賞事業の市民企画公演として、劇団イナダ組×エバーゾーンの演劇公演とAUNJクラ

シックオーケストラの2つを計画しておりましたが、AUNJについては中止を決定しております。

一番下の段のふるさとアーティスト公演事業については、9月に計画しておりましたが、公演については中止とし、代わりに、地域FMを活用するなどにより、アーティストの活動を市民にPRする事業を検討しております。

14ページの文化活動の振興としまして、上から3段目のファミリー劇場については中止が決定しています。

芸術文化合宿事業については、合宿の受け入れ支援を行うほか、道内の芸術関係の大学等を対象に合宿誘致の取り組みを行います。社会教育課については以上です。

三島教育長

図書館長。

本橋図書館長

続きまして、図書館の推進計画についてご説明申し上げます。

計画書の16ページから20ページをごらんください。

1. 推進計画のねらいは、「暮らしと学びをつなぐ図書館」であります。この「ねらい」に向けまして、2. 重点施策にありますとおり、「暮らしと学びをつなぐ」という視点、「子どもの読書環境」、「図書館の利用促進」という3つの施策を掲げております。

具体的には、7つの推進項目に基づきまして、継続事業をしっかりと行い、変化する時代のニーズの把握と対応に努め、読書に親しむ環境づくりを推進、さらには、市民の課題解決の支援と生涯学習に寄与する図書館づくりを目指してまいります。

主な活動ですが18ページ「推進項目(2) 地域資料の収集と情報発信」では、「2. ふるさと学習支援事業の充実」として、今年度4回の資料展を予定しております。

「推進項目(3) 図書館の利用と読書への関心づくり」、「1. 図書館まつり」は、古本市、お楽しみ会は中止として、ほかのイベントも縮小した形での開催を検討しております。「4. 読書ノート事業」では、小・中・高校生向けのノートに加え、今年度より一般用の読書ノートも作成し配布を行っているところでございます。

20ページ「推進項目(7) 学校・ボランティア団体との連携強化」では、「1. ボランティア育成事業」の朗読セミナーを今年度も実施。「3. 学校との連携推進」では、市内高校生により企画展を開催する予定でございます。

その他、推進項目ごとの主な事業及び活動につきましては、記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

三島教育長

博物館長

博物館 米村

続きまして博物館推進計画につきまして、ご説明申し上げます。
資料の 21 ページから 24 ページに記載してございますが、21 ページには博物館推進計画のねらいを記載しておりまして、郷土を語るができる博物館をめざし、博物館活動の一層の推進を図ってまいりたいと考えております。具体的な事業につきましては、22 ページから 24 ページにかけて記載してございますが、その内、主な事業についてご説明申し上げます。

22 ページでございますが、推進項目の 1 の展示活動につきまして、主な事業の 2 つ目の特別企画展の開催でございますが、網走の自然と歴史をテーマとした 2 つの特別企画展を実施する計画であります。自然の展示は「オホーツク海のはなし」と題しまして、現在、8 月 1 日より開催しておりまして、オホーツク海のできるまでの過程やそこに暮らす動物などについて紹介しております。また、冬には「網走の 1964 年・東京オリンピックの頃」と題しまして、昭和 30 年代から 40 年代の網走の様子を紹介する予定でございます。

続いて 23 ページ、推進項目 5 の文化財保護における 2 番目、文化財の保護・管理において、博物館建物の特別展の開催についてであります。博物館建物の重要文化財指定をめざしまして、昨年度は国の登録有形文化財に登録することができましたが、今年度は博物館建物の設計者である田上義也氏についての特別展を開催予定であります。網走の博物館以外の田上氏設計の建物を紹介するとともに、改めて博物館建物の建築学的な特徴を解説し、田上建築の素晴らしさをより多くの皆さんに知っていただこうと考えております。

なお、推進項目 6 のモヨロ貝塚の保護・活用における 9 月 20 日開催予定でありました例年開催しているモヨロまつりにつきましては、新型コロナウイルス感染対策のため中止といたしました。

博物館からは以上です。

三島教育長

美術館長

古道谷美術館長

続きまして美術館でございます。別冊資料の 25 ページをご覧ください。

1. 美術館の役割と推進計画のねらいでございますが、市民の芸術文化発展に寄与し、美術の振興を図り、郷土にゆかりのある作品を主体とした常設展・所蔵作品展の充実と保全管理に努める。また、地域美術文化の推進を図るため、鑑賞機会の充実や創作活動に資する美術展を開催するとともに、市民の多様な学習ニーズに応える教育普及活動

を展開し、美術館友の会と相互協力を図り美術館事業を推進いたします。

2. 重点施策といたしまして以下の6項目を挙げてございます。

続きまして26ページをご覧ください。主なものをご説明いたします。推進項目1の学芸調査・美術品の収集整理及び収集美術品の保全管理ですが本年度は昨年度に引き続き、網走市出身の日本画家・長谷川誠氏作品の学芸調査、作品の保全をいたしまして現在寄託いただいております作品の寄贈に向けまして作業いたします。現在、作品の本紙を伸ばす作業が終了いたしまして、パネル製作を昨年度から継続して行いパネルに張る作業を行います。また、本年度5月に作家が急逝されましたので、作家の資料をご遺族よりお借りいたしまして作家資料の作成を進めたいと考えます。

推進項目2の鑑賞事業の促進ですが、1の常設展、所蔵作品展の展示に関しましては良いのですが2と3の移動展、企画展でございます。新型コロナウイルスの影響があり展覧会の変更等を余儀なくされております。「第61回北海道書道展 網走移道展」に関しましては、本展の開催会場閉鎖の影響で審査がされず延期されております。移動展も中止となりました。また「写真道展・学生写真道展」も移動展開催が中止となりました。企画展のうち、東京方面から多くの団体より作品を借りなくてはならない「楽しい子どもの美術展」、同じく作品状態を確かめ出張を伴う「みつはしちかこ原画展」は開催が難しく中止の判断をしております。ただ、作品借用が道内や近隣である函館からの「金子鷗亭展」「葛西由香展」「富田美穂展」につきましてはそのまま開催の予定です。

27ページの4実技講座等でございますが時期と状況を見ながら開催の判断をしてゆきたいと考えております。

28ページ上段の講演会・作品解説会ですが「北海道書道展」は会自体が中止となりました。「金子鷗亭展」では講演会を企画しておりましたが講師 齊藤千鶴子氏の講演では多くの方が集まることを考慮し、齊藤氏にはご来館いただき作品の前で解説いただいたものを動画にいたしましてロビーで映像を流すことといたしました。鑑賞者で興味のある方がその時その時にご覧いただけるため集まらないとの理由からです。

美術館からは以上です。

三島教育課長

スポーツ課長

阿部スポーツ課長

続きまして、スポーツ課所管の「スポーツ推進計画」について、ご説明いたします。

計画書、29ページをご覧ください。

生涯スポーツ、健康づくりの機会の充実、競技力向上などを狙いとして、13項目を重点施策として取り組むこととしています。

次に、30ページをご覧ください。

30ページから32ページまでは、具体的な取り組みとなります。

要点のみ説明させていただきます。

2番の「いきいき健康体力づくり教室の開催」については、昨年度、38名延べ267人の参加がありましたが、本年度については、新型コロナウイルスの影響により、現時点で15名の申込みとなっています。

3番の「こどもスポーツチャレンジ事業の開催」については、昨年度、40名延べ318人の参加がありましたが、本年度については、いきいき同様、現時点で9名の参加申込みとなっています。

4番の「各種行事・スポーツイベントの開催」については、ホクレンディスタンスチャレンジ網走大会が7月15日に開催され、陸上界が観客を入れて開催する今年度初のイベントになりました。

「夢の教室」については、平成26年度から実施、昨年度、市内全9小学校の5年生、12コマ、291名で実施しましたが、本年度については、8月25日から27日に実施を予定していた第1クール、前半の6コマが、昨今の情勢と子ども達の安全を第一に考え、延期、中止することになりました。

現在、10月以降の実施に向け、代替案を検討しているところです。

ほか3行事についても、新型コロナウイルス感染防止策を徹底した上での開催を計画しています。

次に、31ページをご覧ください。

5番の「障がい児・障がい者スポーツの振興」については、平成29年度から障がい児・障がい者スポーツ教室を開催し、昨年度は、昼の部、夜の部合わせて53名、重複2名の登録があり、参加者数は開催当初の252名から327名へ増加しています。

本年度については、現時点で昼・夜合わせて41名が登録されていますが、新型コロナウイルスの影響により、参加を控えられている方がいる状況です。

また、日体大及び関係団体との連携協力として、11月に日体大付属高等支援学校の体育館において、障がい児・障がい者スポーツ教室の開催を計画しています。

6番の「競技スポーツの振興」については、昨年度、世界大会が1件1名、全国大会が11件54名、全道大会が10件103名、合計22件158名に参加支援を行っていますが、本年度については、新型コロナウイルスの影響により、現時点では該当がない状況です。

10番の「スポーツ合宿の推進」については、昨年度のスポーツ合宿実績は、64団体、1,412人でありましたが、本年度については、新型コ

コロナウイルスの影響により、現時点で33団体、535人の見込みとなっています。

その他につきましては、記載のとおりです。

スポーツ推進計画については、以上です。

三島教育長 ただいま、報告第1号「網走市社会教育推進計画について」の報告がありました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

益村委員。

益村委員 一つお願いなのですが、これは報告という形になっていますが今年特にコロナの関係で当初予定されている事業が延期、中止、変更になっている状態のものがあると思いますので、この資料だけだと、今、説明いただいた事で分かりますが、あとで見たときに、これだけでは今年の事業の活動の内容しかわからないので、今日この委員会をやった中でそういう判断をしていますということが記されているようにして残さなければならないと思いますので、それをご説明いただいた内容が書かれているところもありますが、書かれていないページについては付記した方が良いのかと思いますので、よろしく願いいたします。

三島教育長 社会教育部長。

吉村社会教育部長 今回、推進計画書ということで、現状として口頭でお伝えさせていただきましたが、進捗状況という意味で、今回、特別なコロナ禍の中で様々な事業が遅れたり、中止になったりしておりますので、次回の会議とか、時期を見て中間報告のような形で随時、一覧にしてそれをお見せするようなことで報告にかえさせていただきたいと思いますが、いかがですか。

益村委員 特段、新しい資料を作る必要はないと思いますので、仕事を増やさないで、わかる程度でよろしいと思います。多分のこの資料の中に少し加えればいいのかと思います。

三島教育長 社会教育部長。

吉村社会教育部長 市のホームページでもコロナの影響で行事が中止になったお知らせをしていた案件もありますので、そういった一覧に多少手を加えれば、見やすい表になるものもありますので、その辺、また報告させていただきたいと思います。

- 三島教育長 ほかにございませんか。
伊藤委員。
- 伊藤委員 エコーセンターや市民会館を一般利用される方への人数の利用制限や、留意しなければいけない事項など、今どのようなものを利用される団体にアナウンスしていますか。
- 三島教育長 社会教育課長。
- 岩尾社会教育長 利用制限につきましては国の方針に基づきまして定数の50%以内と
いうことでございます。予約をされる際に、こういったお願いという
ことで新型コロナウイルス感染症対策として、手指の消毒、利用され
る方の連絡先を必ず連絡できるようにメモをつくってもらい、飛沫の
感染防止とかのお願いは予約の際にお願いの文書をお渡しして周知
しております。
- 三島教育長 よろしいでしょうか。
- 伊藤委員 わかりました。
- 三島教育長 ほかにございませんか。
- （「ありません」との声）
- それでは、お諮りいたします。報告第1号につきまして、報告のあつ
たとおり承認することに、ご異議ございませんか。
- （「ありません」との声）
- 以上で提出された案件については、全て終了いたしました。その他、
案件以外で何かございましたら、ご発言をお願いします。
伊藤委員。
- 伊藤委員 学校教育のことでよろしいでしょうか。夏休みが短縮されたことによつ
て給食の提供期間が後ろに伸びたと思いますが、滞りなく給食は提供さ
れたのでしょうか。
- 三島教育長 学校教育部長。

林学校教育部長 通常の児童生徒が学校活動に支障がないように、こちらの方で授業にあわせて児童生徒へ給食は提供できる体制はとっております。

三島教育長 伊藤委員。

伊藤委員 ありがとうございます。SNS上の情報なので真偽のほどは定かではないのですが、北海道外の市などで民間委託した給食事業者が給食を担っている学校でどうしても人繰りにつかずに簡素化された牛乳とパンだけの給食が提供されたというのを見たので、今後、当市においても移行していくのであれば、北海道内で民間委託した、民間が行っているところがどのような状況だったのかということは情報として把握しておく方がよいかと思ひまして、お願いしたいと思ひます。

三島教育長 学校教育部長。

林学校教育部長 例えば網走市ですけれども、夏休みに入る前に小学校、中学校で夏休みが多少ずれている、小学校でつくって中学校に配送しているケースがありますが、特に献立等は崩さないようにしっかり組んで中学校のみでも配送をかけるという体制をとっております。今、私たちが説明会でも、これからも説明会を開催していかなければならないのですが、給食の一部集約、民間委託の形をとる場合でも、この形は維持していくということで考えておりますので、そういった情報があるのかもしれませんが、今のところそこで給食の献立を変えるとか質を落とすとかは考えておりませんので、大丈夫でございます。

三島教育長 伊藤委員のおっしゃったことについては私も聞いております。具体的にどういった内容の委託の状況で給食の提供ができないところが出てきているとか、人員の確保ができないということで、あるということは聞いておりますが、それが給食センターがそういう形になっているのか、どういった形でそういう状況になっているのか、また説明会の中でもそういったことも聞かれてくると思ひますので、調べさせていただきたいと思ひます。

ほかにございませんか。

中山委員。

中山委員 学校経営報告書の中でお伺ひしたいことがあるのですが、二中の校長先生の報告書なのですが、修学旅行に対して生徒が体調が悪くなった場合は保護者が迎えにくる、いつもそうだったのですが、今年度は来る際の

費用について補償される保険に入っていると書いてあります。これは二中だけのものなのか、他の学校もやっているのか。

三島教育長 学校教育部長。

林学校教育部長 全ての学校がそういった保険に入っているのかというお尋ねですね。申し訳ございません。全ての学校が保険に入っているか把握しておりません。

三島教育長 私もそれを読んで初めてそういう保険があるのだというふうに見ましたので、多分、他の学校では無いのではないかと。掛金の保護者負担がありますので、今までは聞いたことがありません。何かあったら迎えにきてもらうということはやってはいるんですが。

中山委員 その場所によって、遠い場所であっても、こういう形の各学校でこういった対策をとるべきかと思っていた。

三島教育長 修学旅行の経費に、保護者負担の中に入ってくるのだらうと思いますが。ほかにございませんか。それでは、以上をもちまして本日の教育委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

【午後5時10分 閉会】